

給食会たより

令和3年度第9号

(公財)熊本市学校給食会

R3.12.28 文責：本郷

ブロッコリー圃場視察

12月13日に西区中島地区にあるブロッコリーの圃場視察を行い、生産者の上野さんにお話を聞かせていただきました。

- この地域に適している「ともえ」という品種を生産。理由は、実がきれいなドーム型になり、べと病になり難く、収穫量が安定しているから。
- 夏の終わり頃から時期をずらしながら播種し、約1か月後に定植、それから90日以上かけて生長させ、収穫となる。
- 1株1株生長が違うので、毎日よく観察し、頃合いを見て程よい大きさになった時、1株から1玉だけを収穫する。収穫した後、脇芽がでて小さな玉ができるが、商品にはならない。
- 学校給食用は玉の部分が多くなるよう実のギリギリ下を切り、茎はできるだけ入らないようにする。(茎も甘くておいしい)
- 収穫する時は収穫機を使う。かごを4つ乗せて畝の中を押し進める。畝の幅、葉の高さに応じて自由に調整できる優れもの。
- おいしいブロッコリーは、ちょっと実の頭が赤紫のもの(霜に当たると実にアントシアニンが出てきて、赤紫になり甘くておいしくなるため)、触って花芽が硬いもの、茎が太いもの。
- 収穫が終わったら草を植え、稲作が始まる前に堆肥としてトラクターで土と一緒に耕す。
- 農薬は稲刈りが終わってから1回だけ施す。



【上野さん】



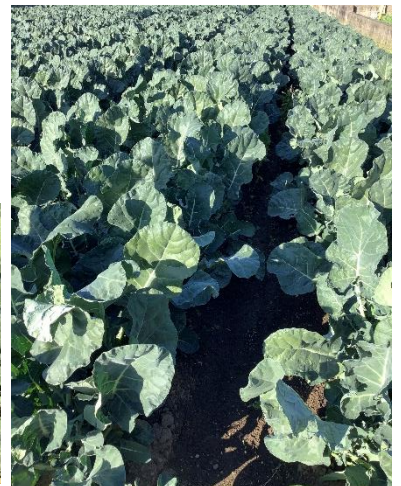
【おいそうな実】

上野さんは「たいへんなことは、天気や気温に左右されること。」「なんでも適期に処理することが一番。」と。この時期の朝は霜で真っ白になり、触ると葉が傷んでしまうので、収穫は夕方5時以降に電気をつけてするとのこと。まさに、ブロッコリーに合わせ、適時的確な方法で仕事をされていると思いました。

畝に株が整然と並び、どの株の葉も生き生きとしている様を見て、上野さんの仕事ぶりの確かさを感じました。



【4輪手押し収穫機】



【美しい圃場】